



## AWSクラウドが創る航空宇宙と防衛のイノベーション

この度、日本航空宇宙工業会に賛助会員として入会しましたアマゾンウェブサービスジャパン合同会社（AWS）パブリックセクター統括本部長の宇佐見潮です。AWSは2009年から日本でクラウドサービスを展開し、個人・企業のみならず、デジタル庁のガバメントクラウドをはじめ中央省庁・自治体に広く採用されています。そして2024年1月、国家安全保障事業本部を設立。防衛省・自衛隊、さらには防衛関連企業を支える体制を整えました。今後はSJAC会員企業の皆様に、クラウドを武器とした新たなイノベーションを届けてまいります。

東アジアの安全保障環境はかつてないほど不透明さを増しており、我が国の防衛力強化は官民双方にとって待ったなしの課題です。世界ではロシアのウクライナ侵攻を契機に、現代戦における「デジタルの力」が決定的に重要であることが証明されました。AWSはウクライナで、国家の重要情報をクラウドへ迅速に移行し国外へ安全退避させることで、有事におけるデータ可用性と事業継続性を実証しました。これは単なる技術ではなく、国家の存続を支えるインフラです。

AWSクラウドは世界38リージョンを展開。日本では東京と大阪にリージョンを設置し、複数の独立したデータセンター群が高い耐障害性と地理的冗長性を備えています。災害や有事の際にも業務を止めない—それがAWSの強みです。さらに脅威検出、自動対処、脆弱性管理など多彩なセキュリティサービスを提供

し、航空宇宙産業のサプライチェーン全体を堅牢な防御で包み込みます。ISO/IEC 27001やSOC認証など国際基準を満たす環境は、グローバルな相互運用性を確保し、国際協力の基盤となります。

航空宇宙分野では膨大なデータ処理、防衛分野では過酷な環境での即応性が求められます。AWSはクラウドとエッジコンピューティングを融合させたタクティカルエッジソリューションを提供、通信環境が限られる現場でもクラウド機能を活用可能にします。防衛の最前線や艦艇において、AIによるリアルタイム分析が意思決定を加速し、迅速かつ安全な行動を支援します。分散化されたデータセンター群とタクティカルエッジの融合は、災害や有事におけるリスク分散とデータ可用性を確保し、航空宇宙の複雑なサプライチェーンを強靱に運用可能にします。サプライチェーンのデジタル化は効率化にとどまりません。予測分析による部品需要の最適化、デジタルツインを活用した製品開発の高度化—これらは新たなイノベーションを生み出し、ビジネス機会を拡大します。AWSは日本の航空宇宙産業の競争力を高め、相互運用性を重視した強靱なサプライチェーン構築を支援し、持続的な発展に貢献します。

AWSは、SJAC会員企業の皆様と共に、航空宇宙産業の未来を創り出す存在として、業界全体の進化とイノベーションを推進してまいります。